

木材の化粧性を維持した難燃材を開発

- アカマツ難燃材への塗装の適性について -

1 はじめに

内装材としての難燃材には、防火性の他に化粧性、耐候性などが要求される。これらの性能を付与するため、難燃材への塗装について検討を行い、木材の化粧性を維持した難燃材を開発した。

2 実験方法と性能評価

様々な塗料を用いて、塗装の適性について下表のような評価を行った結果、ウレタン系塗装が良好であった。

3 成果と今後の進め方

県工業技術センターとの共同研究より、難燃材の開発に目途がついたことから、今後は県内企業、団体等へ技術移転を進めていく予定である。

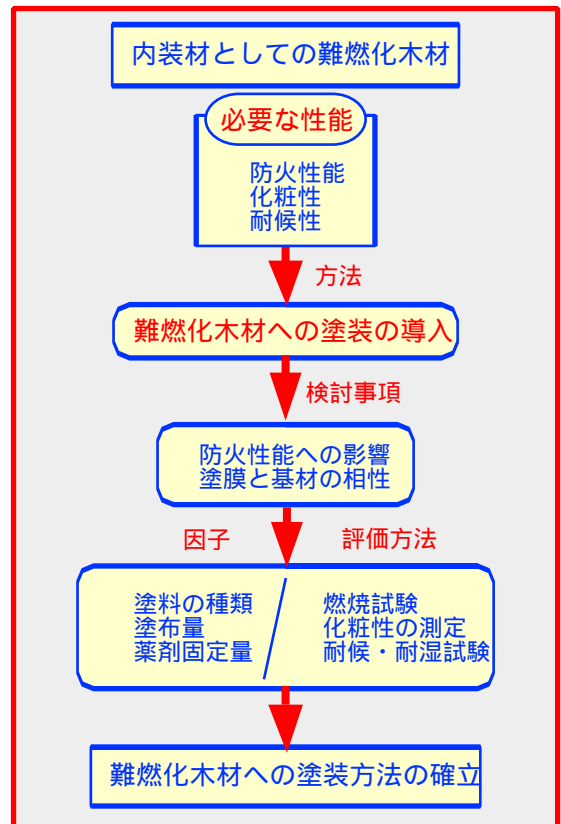
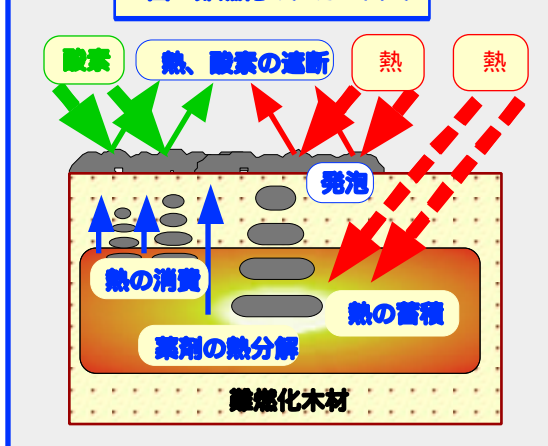
表 難燃材への塗装の適性

塗装	防火性	化粧性	耐候性 (紫外線)	耐湿性
無塗装		—		
ラッカー				
防火塗装				
ウレタン 塗装(A)				
木肌塗装*				

凡例： 大変良好 良好 不良

* 県工業技術センター開発

図 難燃化のメカニズム



耐湿性試験の結果 ・ 相対湿度95% ・ 150時間



写真1 薬剤の析出を抑制(ウレタン塗装)



写真2 吸湿により薬剤が析出した表面

(担当者 木材部 専門研究員 谷内博規)

連絡先	028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割字清水560-11 岩手県林業技術センター ホームページアドレス : http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/	TEL 019-697-1536 FAX 019-697-1410
-----	--	--------------------------------------